

# 大和郡山市

「安心して子どもを産み育て、子ども・大人・社会がともに育つまち大和郡山」

～妊娠期から出産・子育て期まで切れ目ない支援を行います～

## 1 基本データ <県記載>

・順位は県内市町村の降順  
・カッコ書きは県全体の数値

### ①人口増減率（H11年4月～H30年12月・約20年間）

増減率	順位	うち自然増減		うち社会増減	
		増減率	順位	増減率	順位
▲9.2% (▲6.2%)	13位	▲1.8% (▲2.1%)	12位	▲7.4% (▲4.1%)	18位

### ②合計特殊出生率

### ③有配偶出生率

H20～24年(年率)	順位	対H15～19年(年率)増減	(15～49歳女性有配偶者1,000人あたりの出生数)	
			H27年	順位
1.29 (1.29)	15位	+0.04 (+0.06)	75.2 (74.4)	11位

### ④出生数(人)

### ⑤年少人口割合(15歳未満)

H30年	H30年10月		対25年10月増減
	順位	増減	
529 (8,947)	11.5% (12.0%)	14位	▲1.0㊦ <sup>イ</sup> ト (▲0.7㊦ <sup>イ</sup> ト)

### ⑥子育て世代割合(25～44歳)

H30年10月	順位	対25年10月増減

## 2 子育て家庭の現状と支援に関する課題

- ① 核家族化が進み、共働き家庭、ひとり親家庭が増加しており、このような家庭の子どもたちが安全で健康的に過ごせるニーズへの対応が必要。
- ② 市内中心部では、いわゆる待機児童が発生しており、『大和郡山市子ども・子育て支援計画』も踏まえ、市内保育園における量の確保に向けた施策を進めることが急がれる。
- ③ 出生数が減少する中で、発達について支援が必要な児は増加しており、需要に応じた発達相談を実施できる機会の確保が必要。
- ④ 虐待相談は年々増加傾向にある。子どもやその保護者に寄り添って継続的に支援し、関係機関と連携を取りながら、子どもの虐待の発生を防止、又は重症化の予防を図る。

## 3 子育て家庭への支援に関する基本的な考え方(目指していること)

- ① 妊娠期から出産・子育て期に至るまでの「切れ目のない支援」を基本とし、子どもの年齢に応じて必要とされる支援を行う。
- ② 子育て家庭が安心して地域の中で生活ができ、困りごとや悩みごとがあれば直ちに対応できる環境を整備。

## 4 子育て家庭への支援に関する特徴的な取組

- ① こんにちは赤ちゃん訪問に保健師・助産師が訪問、全員に産後うつ検査を実施。必要に応じて産後ケア事業など事業を案内。
- ② 保健センターに助産師が常勤し、必要な時に相談対応を実施。
- ③ 大和郡山すこやか21計画の推進に地域住民(団体)が参画。児童虐待防止啓発の取り組みとして、郡山高校家庭科クラブ、市内公立小学校6年生、主任児童委員等、市民手作りのオレンジリボンを作成。11月3日開催の親子まつりにて、小学生が手書きメッセージを添えて、これらのオレンジリボンを配布している。

## 5 多様な主体による子育て支援の取組

- ① 「親子たんとん広場」市内4か所で実施のうち、郡山高校内で毎週開催。高校生と未就園児親子との交流が行われている。
- ② 妊婦健診等実施医療機関と定期的に会議を開催し、顔の見える関係を構築。急を要する時には電話で情報共有を行うなど、タイムリーな支援に一役買っている。